

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 翻訳センター
コード番号 2483 URL <http://www.honyakuctr.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 郁男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中本 宏

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

TEL 06-6231-8544

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	2,039	8.4	53	64.3	54	63.3	28	62.7
21年3月期第2四半期	2,226		149		149		76	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	2,170.63	
21年3月期第2四半期	5,829.33	5,454.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	2,202	1,580	71.7	120,667.42
21年3月期	2,279	1,603	70.3	122,468.88

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,580百万円 21年3月期 1,603百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		4,000.00	4,000.00
22年3月期		0.00			
22年3月期 (予想)				4,000.00	4,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	2.2	220	30.7	220	30.0	110	29.7	8,400.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 社 (社名) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	13,095株	21年3月期	13,095株
期末自己株式数	22年3月期第2四半期	株	21年3月期	株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	13,095株	21年3月期第2四半期	13,090株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.平成21年5月14日に公表しました連結業績予想の変更はありません。
- 2.上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。また、上記の予想の前提条件その他関連する事項については、3ページ[定性的情報・財務諸表等]3.連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1．連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年秋以降の国際金融市場の混乱による企業収益の悪化が続く中、企業の在庫調整の一巡や経済対策の効果により、輸出や生産については持ち直しの動きがみられつつありますが、設備投資の抑制や雇用情勢の悪化など経済環境は依然として厳しい状況が続いております。このような状況のもと当社グループの売上高は、前年同期比 8.4%減収の 2,039百万円となりました。

分野別の売上の状況につきましては、特許分野は、ソースクライアントである企業の出願見送りによって、主な顧客である特許事務所からの受注が減少したため、売上高は前年同期比23.4%減の 655百万円となりました。医薬分野では、メディカルライティング案件の受注が堅調な伸びを見せたものの、一部主要顧客で予算の絞込みがみられることに加え、他社との競争が激化したこともあり、前年同期比 1.9%減の 668百万円となりました。工業分野では、電気機器関連企業からの大型スポット案件の獲得に加え、オンラインゲームやコミックなどのコンテンツ関連企業からの受注が堅調に推移しましたが、自動車関連企業からの受注が引き続き低調であったことから、売上高は前年同期比 0.7%減の475百万円となりました。金融分野では、ディスクロージャー資料や保険法改正による約款変更に伴った受注が増加しましたが、国内外の金融機関からの受注が低迷を続けており、売上高は前年同期比1.3%減の177百万円となりました。

利益面につきましては、販売管理費の削減に努めたものの売上高の減少を補うには及ばず、営業利益は前年同期比 64.3%減の53百万円、経常利益は前年同期比63.3%減の54百万円、四半期純利益は前年同期比62.7%減の28百万円となりました。

2．連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は 2,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円の減少となりました。これは、流動資産が前連結会計年度末と比べ93百万円減少した一方、固定資産が前連結会計年度末と比べ17百万円増加したことによるものです。主な要因として、流動資産は現金及び預金が22百万円、受取手形及び売掛金が90百万円減少いたしました。固定資産については、前期より開発を進めております翻訳支援システム「HC TraTool」による無形固定資産の増加によるものであります。

総負債につきましては、前連結会計年度末に比べ53百万円減少して 622百万円となりました。主な要因として買掛金が減少したことにより、流動負債が前連結会計年度末に比べ59百万円減少となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ23百万円減少して 1,580百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、975百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動によるキャッシュ・フローは65百万円の収入（前年同四半期累計は14百万円の支出）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が55百万円であり、売上債権の減少による収入が93百万円でありましたが、仕入債務の減少による支出40百万円や法人税等の支払額による支出28百万円によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動によるキャッシュ・フローは38百万円の支出（前年同四半期累計は 152百万円の支出）となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出26百万円によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動によるキャッシュ・フローは54百万円の支出（前年同四半期累計は47百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払額52百万円によるものであります。

3．連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月14日の決算発表時に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理方法

（固定資産の減価償却費の計算方法）

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

（一般債権の貸倒見積高の算定方法）

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しく変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,083,285	1,105,755
受取手形及び売掛金	512,011	602,331
仕掛品	41,113	40,542
その他	88,508	70,273
流動資産合計	1,724,918	1,818,902
固定資産		
有形固定資産	54,451	59,249
無形固定資産		
のれん	33,143	37,286
その他	144,661	119,803
無形固定資産合計	177,804	157,089
投資その他の資産	245,775	244,366
固定資産合計	478,032	460,706
資産合計	2,202,950	2,279,608
負債の部		
流動負債		
買掛金	287,538	327,731
未払法人税等	27,102	32,433
賞与引当金	90,620	89,950
役員賞与引当金	12,000	-
その他	84,195	110,948
流動負債合計	501,456	561,063
固定負債		
退職給付引当金	64,053	57,515
役員退職慰労引当金	57,300	57,300
固定負債合計	121,353	114,815
負債合計	622,810	675,878
純資産の部		
株主資本		
資本金	399,818	399,818
資本剰余金	290,198	290,198
利益剰余金	895,219	919,175
株主資本合計	1,585,235	1,609,191
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,854	2,549
為替換算調整勘定	3,241	2,911
評価・換算差額等合計	5,096	5,461
純資産合計	1,580,139	1,603,729
負債純資産合計	2,202,950	2,279,608

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,226,942	2,039,322
売上原価	1,173,154	1,119,870
売上総利益	1,053,788	919,452
販売費及び一般管理費	904,175	866,159
営業利益	149,612	53,292
営業外収益		
受取利息	1,778	318
受取配当金	169	169
為替差益	-	978
その他	18	227
営業外収益合計	1,966	1,693
営業外費用		
支払利息	345	115
為替差損	1,346	-
営業外費用合計	1,691	115
経常利益	149,887	54,871
特別利益		
貸倒引当金戻入額	42	302
償却債権取立益	-	519
特別利益合計	42	822
特別損失		
固定資産売却損	2,468	-
特別損失合計	2,468	-
税金等調整前四半期純利益	147,461	55,693
法人税等	71,155	27,269
四半期純利益	76,305	28,424

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	147,461	55,693
減価償却費	8,390	11,422
のれん償却額	-	4,142
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,281	2,695
賞与引当金の増減額(は減少)	10,596	670
役員賞与引当金の増減額(は減少)	12,000	12,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	6,605	6,538
受取利息及び受取配当金	1,947	487
支払利息	345	115
有形固定資産売却損益(は益)	2,468	-
売上債権の増減額(は増加)	50,445	93,759
たな卸資産の増減額(は増加)	22,112	362
仕入債務の増減額(は減少)	28,772	40,518
その他	56,345	46,316
小計	106,417	93,961
利息及び配当金の受取額	1,947	487
利息の支払額	345	115
法人税等の支払額	122,551	28,882
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,531	65,451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	5,996	4,194
有形固定資産の売却による収入	9,885	-
投資有価証券の取得による支出	64,510	-
無形固定資産の取得による支出	82,123	26,875
貸付けによる支出	-	200
貸付金の回収による収入	96	57
その他	9,730	7,006
投資活動によるキャッシュ・フロー	152,378	38,219
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	564	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	2,395	2,396
配当金の支払額	45,815	52,380
財務活動によるキャッシュ・フロー	47,646	54,776
現金及び現金同等物に係る換算差額	886	1,011
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	213,670	28,555
現金及び現金同等物の期首残高	1,287,950	1,004,115
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,074,279	975,559

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第 2 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)及び当第 2 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)

当連結グループは、翻訳事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第 2 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)及び当第 2 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第 2 四半期連結累計期間(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)及び当第 2 四半期連結累計期間(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。